

歩掛参考見積募集要領

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

令和 8 年 1 月 13 日

独立行政法人水資源機構
木曽川中下流用水総合管理所長 津曲 孝一
(公印省略)

1. 目的

この参考見積の募集は、木曽川中下流用水総合管理所で予定している業務の積算の参考とするための見積を募集するものです。

2. 参考見積書の提出等

参考見積書は、次に従い提出してください。

- (1) 参考見積書は、項目毎に必要な金額を記載して提出して下さい。なお、参考見積書の様式は問いませんが、別添様式を参考に、項目毎に必要な金額がわかるように記載願います。
- (2) 提出期間：令和 8 年 1 月 14 日（水）から令和 8 年 1 月 23 日（金）まで持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前 10 時から午後 16 時まで

(3) 提出先

独立行政法人水資源機構 木曽川中下流用水総合管理所長 宛

【担当】木曽川中下流用水総合管理所 工務課

〒495-0036 愛知県稻沢市祖父江町馬飼寺東 26-1

TEL 0587-97-3710 FAX 0587-97-1482

(4) 提出方法

書面は持参、郵送、ファクシミリ又は電子メール（社印があること）により提出するものとします。

メールアドレス：jwa_kisochuu@water.go.jp

注：電子メールの場合の添付ファイルは画像形式の PDF 又は画像ファイル形式等で提出してください。なお、メールの表題に【参考見積書】の記載をお願いします。

3. 参考見積内容

(1) 作業内容

見積仕様書、参考図に示す内容とします。

(2) 参考見積徴取範囲

「作業内容」を実施するために必要な単価と労務人数を徴取します。

4. 募集要領に対する質問

この募集要領に対する質問がある場合においては、次に従い、書面（様式は自由）により提出してください。

- (1) 提出期間：令和8年1月14日（水）から令和8年1月16日（金）まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、
午前10時から午後16時まで
- (2) 提出場所：2. (3) と同じ。
- (3) 提出方法：2. (4) と同じ。

5. 質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり送信します。

- (1) 送信期間：令和8年1月20日（火）
- (2) 送信方法：FAXにより送信します。

6. 参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とします。

7. ヒアリング

提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

8. その他

- (1) 送付資料の電子データを希望される場合は、メールアドレスをお知らせ下さい。
- (2) この参考見積書をご提出いただいたことで、業務の指名又は競争参加資格をお約束するものではありません。
- (3) ご提出いただいた参考見積書は、積算の目的以外には使用いたしません。

— 以 上 —

見積仕様書

令和8年1月

独立行政法人 水資源機構

木曽川中下流用水総合管理所

第1節 舞谷サイホン管内調査業務

本業務は舞谷サイホンの機能診断調査のため、管水路の管内調査として ROV (Remotely Operated Vehicle) に搭載したビデオカメラ及び付属装置（以下、「ROV」という。）により、管内面を無人撮影し、その映像をもとに施設の劣化状況の確認を行うものである。

28-1 対象施設

施設名	調査延長	規格	管径	勾配	管内面調査
舞谷サイホン	約 138m	P C 管 一部鋼管	φ 2300mm	約 7%～ 約 34%	ROV

1-2 ROV

水路内の水理条件は、流速 0.1m/s 程度、入口の開水路の水深最大 2.0m 程度、濁度は概ね 5.0 度以下を想定している。

サイホン下流の開水路から進入し、上流方向に撮影するものとする。

1-3 事前準備

受注者は、本業務に関する業務内容を十分に把握したうえで現地踏査を行い、それらをもとに点検実施にあたっての技術の方針（調査方法、安全対策など）及び作業工程を検討し、詳細な業務計画を調査職員に提出するものとする。

1-4 ROV による撮影等

(1) 撮影準備

ROV による撮影にあたっては投入口の水質について、ポータブル水質計等を用いて監督員が実施するが、管内の採水を指示する場合がある。これについては後日、設計変更の対象とする。

(2) ROV による撮影

ROV による撮影は、切れ目のないよう、連続した映像を得るように行うものとする。撮影した映像をもとに、下記内容を計測するものとする。また、管水路内部の錆こぶや管体の変形・たわみ等、土砂やゴミなどの異物の有無等を確認するものとする。

なお、著しい損傷等が確認された場合は、調査職員に速やかに報告するとともに、追加調査の実施等について調査職員と協議を行うものとし、必要に応じて設計変更の対象とする。

計測項目	箇所数	内 容	備 考
継手曲げ角度	約 34 箇所	ソナーにより前後の管から角度を算出	
継手間隔	約 34 箇所	カメラ映像により各箇所にて 4 点算出 (12 時、3 時、6 時、9 時)	
沈 下	1 式	ROV の進水位置より概ねの管中心高さ を算出	

(3) ROV による計測

ROV に付属する装備にて下記内容の計測試験を行う。なお、漏水確認の実施箇所（継手）については、継手の状況から監督員が指示する。

なお、著しい損傷等が確認された場合は、調査職員に速やかに報告するとともに、追加調査の実施等について調査職員と協議を行うものとし、必要に応じて設計変更の対象とする。

計測項目	箇所数	内 容	備 考
鋼管肉厚測定	約 4 箇所	鋼管のある場所にて左右 2 点ずつ鋼管の肉厚計測を行う	
漏水確認	約 2 箇所	継手間隔が大きい場所にてトレーサーにより、漏水の有無を確認する	

1-5 ROV 撮影結果の取りまとめ

ROV により撮影した結果については、別途機能保全計画書策定に用いることを念頭に、変状があった場合は、施設内の変状位置及び変状箇所が分かるように、変状位置及び変状箇所の写真台帳を作成するものとする。この場合、作成する写真台帳は静止画として画像ファイル出力を行った画像を使用するものとし、解像度を落とさない原画のままの画像ファイルを別途納品することとする。撮影した動画及び静止画等の生データ（画像鮮明化処理したデータ）については、報告書の添付資料として提出するものとする。

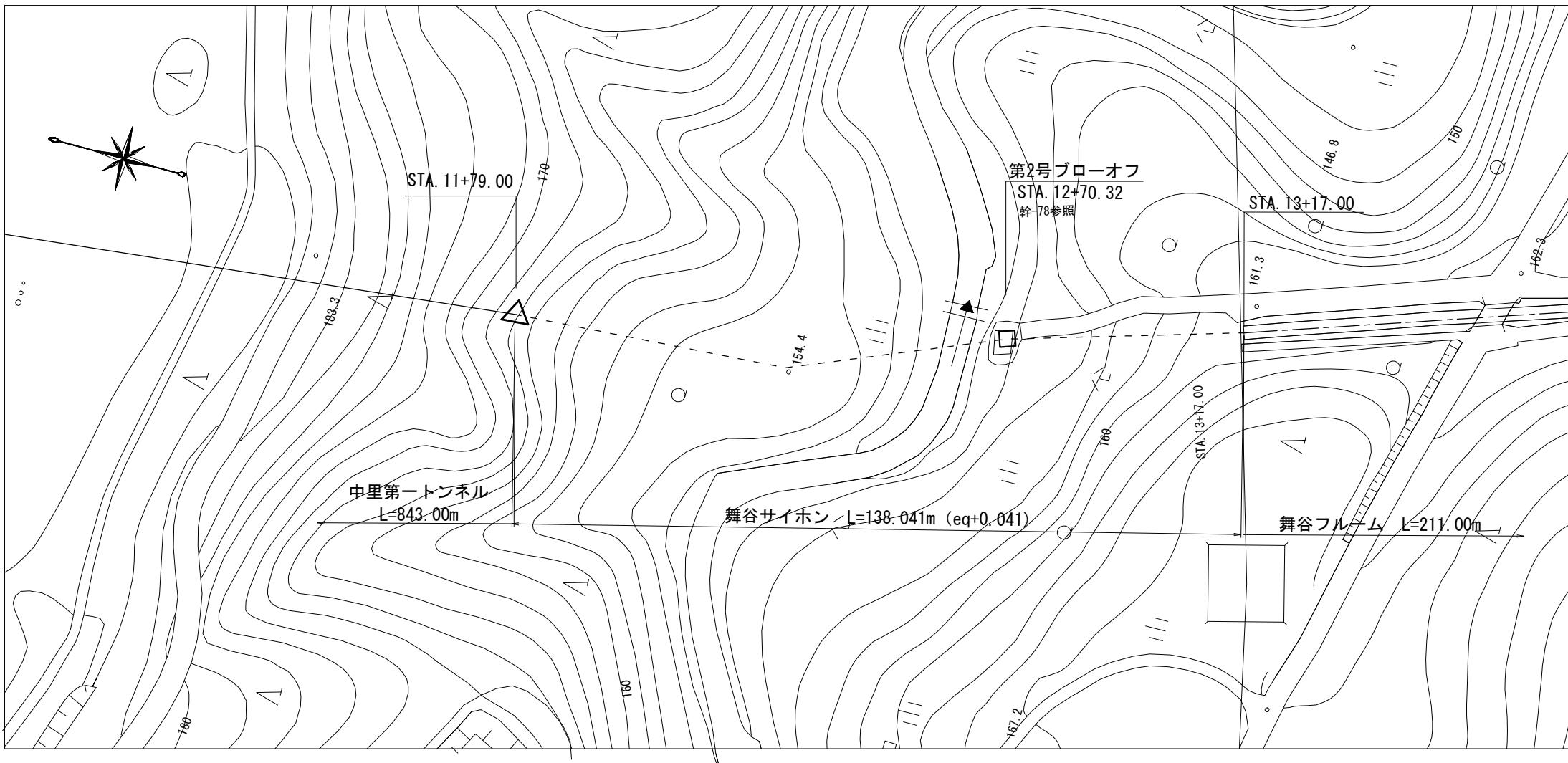
－以 上－

舞谷サイホン平面図・縦断図

S=1:500

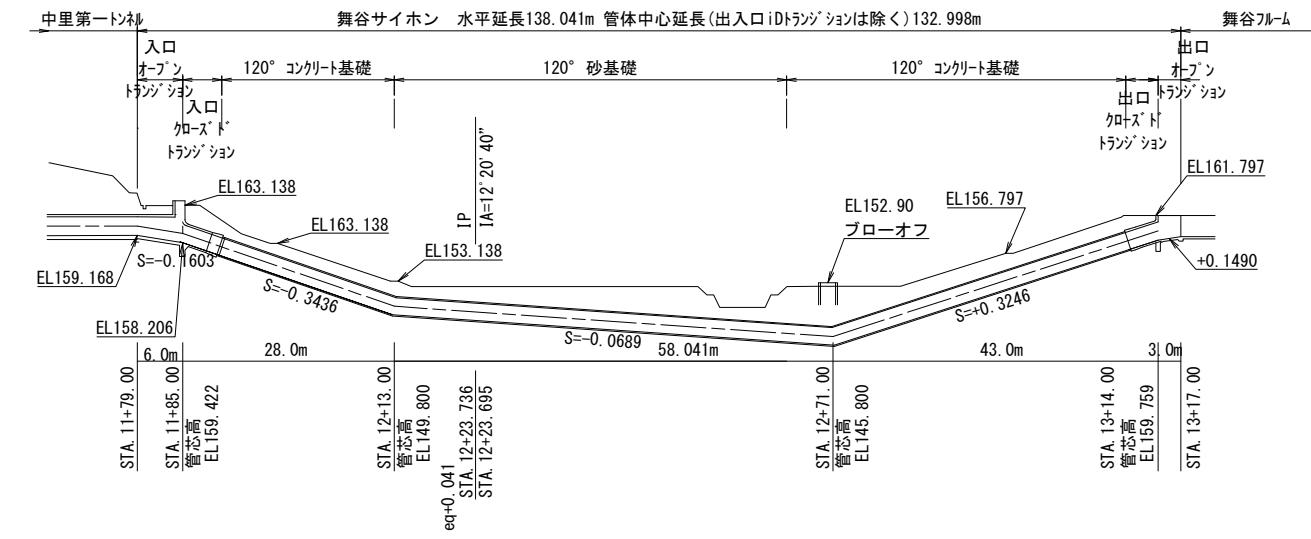
平面図

S=1:500



縦断図

S=1:500



工事名	
名称 舞谷サイホン平面図・縦断図	
登録番号	整理番号
独立行政法人 水資源機構 木曽川中下流用水総合管理所	

【参考見積様式】

項目	規格	員数	単価	金額
調査人件費	技師A	〇〇人	59,600	□□□□
報告書とりまとめ	技師A	〇〇人	59,600	□□□□
機材費		1式	▲▲▲	▲▲▲

※上記技術者単価は「設計業務委託等技術者単価（国交省公表）」で入力願います。

※旅費交通費、電子成果品作成費、諸経費は別途計上しますので、上記金額に
含めないでください。

※その他、必要な費用がある場合は、機材経費に含めて記載願います。